

◇令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津川跡地公園(区間2・5)			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	建設部	草津川跡地整備課	初年度	105,403,326円		105,403,326円	仕様書の要求水準を遵守し、専門的業務の外部委託とグループの管理ノウハウによる直営業務との適正バランスを図り、経費抑制に努めた。	人がチャレンジし、まちが輝き活力あふれる花とみどりの公園づくり
施設HPアドレス	http://www.kusatsugawaatochi-park.com		2年目	105,274,013円		105,274,013円	仕様書の要求水準を遵守し、専門的業務の外部委託とグループの管理ノウハウによる直営業務との適正バランスを図り、経費抑制に努めた。	人がチャレンジし、まちが輝き活力あふれる花とみどりの公園づくり
指定管理者名	草津川跡地公園マネジメント・パートナーズ		3年目	105,133,405円		105,133,405円	仕様書の要求水準を遵守し、専門的業務の外部委託とグループの管理ノウハウによる直営業務との適正バランスを図り、経費抑制に努めた。	人がチャレンジし、まちが輝き活力あふれる花とみどりの公園づくり
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
草津川跡地公園の計画・設計に携わった企業体によるきめ細かな公園の維持管理・運営を行い、災害時に即応して機能する公園として安全安心な避難空間を保全しつつ、市民や民間事業者などのステークホルダーと連携した中心市街地の活性化に取り組む。管理開始の初年度には、これらの基本的事項を着実に進めながら、「市民が主体的に関わって生み出される活動の舞台づくり」を最重要視し、草津市の歴史文化や産業活動の資産を活かした新たな名所となる公園づくりに努める。		草津川跡地公園の管理運営方針に基づき、公園の維持管理・運営を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしたイベント実施により、来園者数がコロナ禍前の水準にまで戻った。 指定管理者が実施している、「緑の豊かさ」、「清潔さ」、「安全さ」、「対応の良さ」、「便利さ」からなるアンケート調査において、全項目の平均点が前年度同様に高く、利用者の満足を得られた高い水準の管理運営であったと認められる。また、市民意識調査においても、公園の管理運営に対する市民の満足度が前年度より向上した。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
昨年度と比較し新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を大きく受けず予定通りイベントが実施された。総来園者数は昨対比107%増、区間5はイベント開催の効果があり119%増となった。植栽管理について四半期に1回のセンサリーツアーを継続し、コンセプトに沿った景観づくりに取り組めた。また昨年度構築した有償視察事業を実施し、公園周辺施設や空地を利用した大規模イベントを開催することで自主財源増に取り組んだ。市民活動について多数のプレーヤーを発掘し公園の日常的な賑わいを創出した。市民とともに創るバラ園をオープンし、ローズフェスタを開催し新たな魅力を創出できた。		[応募状況等] 指定管理者の選定は、公園の管理運営に関して民間事業者等の多様なアイデアを活用するため、公募により行った。 [使用料制の導入] 駐車場の利用者数など、利用料金の算出に不確定な要素が多く、利用料金収入を算出することが困難であったため、使用料制を導入しており、安定した管理運営を実施いただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務
<ul style="list-style-type: none"> 草津川跡地公園の維持管理、運営に関すること 草津川跡地利用基本計画の理念実現に向けた取り組みに関すること 公園のマネジメント(計画・実績・評価)、非常時・災害時対応、引継ぎ等に関すること

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

公園施設（建築物・構築物等・樹木等）・設備の管理、清掃・警備業務（仕様書P25～42）			
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価	
1	上半期評価	仕様書の業務概要及び要求水準を遵守した上で、提案書による快適な公園の維持管理・運営に継続して取り組んだ。2期より実施しているセンサーツアーを継続し、植栽管理については樹木の巡回による病害虫の早期確認・対応を心がけ良好に生育できるよう取り組んだ。植栽管理における市民活動ではくさつろザリアン倶楽部2期生を募集し30名を超える会員でバラ園の管理を行った。	上半期評価 仕様書に定める要求水準を遵守し、維持管理を実施した。指定管理者・市・民間事業者等が集まり公園内の状況確認を行うセンサーツアーを実施し、適切な修繕等、ガーデンの良好な維持管理を行った。
	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	下半期評価	仕様書の業務概要及び要求水準を遵守した上で、提案書による快適な公園の維持管理・運営に継続して取り組んだ。四半期に一度センサーツアーを実施して、園内の植栽環境を中心に検討し、日々の管理業務に反映させることができた。植栽管理については、新しくできたバラ園でのくさつろザリアン倶楽部の活動、グラッシーの活動を継続してサポートした。	下半期評価 仕様書に定める要求水準を遵守し、維持管理を実施した。上半期に引き続き、指定管理者・市・民間事業者等が集まり公園内の状況確認を行うセンサーツアーを実施し、適切な修繕等、ガーデンの良好な維持管理を行った結果、指定管理者によるアンケート調査の「緑の豊かさ」について、高い満足度となった。夜間巡回等も継続して実施することで、アンケート調査の「安全さ」について、高い満足度となった。
	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

公園の利用、使用料等の収納、広報・利用促進に関する業務（仕様書P43～48）			
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価	
2	上半期評価	施設等の使用許可・使用料等の収納について、条例・規則等に基づき公平かつ適正に業務を行い、利用者へのホスピタリティ向上に努めた。広報・利用促進について、HPとInstagram他6種類のメディアを活用し多くの情報発信を行った。メインのInstagramをプロアカウントに変更し、有償広告の実施により広域に届く広報を実施できた。主要SNSであるInstagramのインフォ、ガーデン、くさねこのフォロワー数が合計で3,152となり、令和3年度下半期時点の2,175と比べ45%増加した。昨年度に構築した有償視察事業を積極的にアピールし、6組の視察（関西圏外3組）を受け入れ自主財源増に取り組んだ。区間5では、夜間の騒音や若者のたむろ行為などの問題に対し、「ガーデンカフェテリア」イベントを開催、夜間帯のキッチンカー出店や市民活動プログラムの開催をすることで夜間でのイベント実施による問題の抑制と賑わいづくりに取り組んだ。また、公園における長期占用をおこなうことで長期間にわたる日常的な賑わいの創出および魅力発信を実施した。区間2のアウトドアの潜在的ニーズに対し、11月に「くさつろ遊びJAM」の計画を立てた。	上半期評価 仕様書に定める要求水準を遵守し、有料公園施設の使用料徴収、広報展開を行った。Instagramをプロアカウントに変更し、効果的な広報が行われた。夜間のキッチンカー出店を行い、夜間の騒音などの問題対策および夜間の創出につなげた。
	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	下半期評価	施設等の使用許可・使用料等の収納について、条例・規則等に基づき公平かつ適正に業務を行い、利用者へのホスピタリティ向上に努めた。広報・利用促進について、HPとInstagram他6種類のメディアを活用し多くの情報発信を行った。主要SNSであるInstagramのインフォ、ガーデン、くさねこのフォロワー数が合計で3,451となり、令和4年度上半期時点と比べ約300人増加した。Instagramフォトコンテストを実施し、市民による公園の2次発信に努めることができた。有償視察事業を積極的にアピールし、6組の視察（行政組織および民間事業者3組）を受け入れ自主財源増に取り組んだ。くさつ健・交クラブと連携してルディックウオークを実施した。区間2の「くさつろあそびJAM」イベント開催時に、ai彩ひろば周辺施設や空地を駐車場として確保するとともに、草津駅から区間2までのシャトルバスを運行した。そして、大規模イベント実施の際の、周辺空地および施設の利用や警備オペレーションの知見を得ることができた。	下半期評価 仕様書に定める要求水準を遵守し、有料公園施設の使用料徴収、広報展開を行った。フォロワー数が順調に増えているInstagramにおいて、フォトコンテストを実施し、市民参加型の広報を実施した。臨時シャトルバスを運行させるなど従来の公園へのアクセス方法以外の手法も取り入れた「くさつろあそびJAM」を実施し、公園の利用促進につなげた。
	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

草津川跡地公園管理運営会議の運営に関する業務（仕様書P49～50）			
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価	
3	上半期評価	草津まちづくり会社他関係機関と共催した「くさつ花まつり」では桜のシーズンの賑わいを街中に繋いでいるように広報など連携し実施した。草津川ハイラインイベントや区間2民間活用エリアの花の見所づくり（種まきイベントやクレスオメ・ヒマワリ畑）など、昨年度に引き続き事業者と一体感を持った公園の賑わいづくりに積極的に取り組んだ。区間5においては草津まちづくり株式会社と連携しガーデンストリートプロジェクトにおいて花苗選定、寄せ植えレクチャーなどを継続した。昨年度計画した移動図書館が区間2・5とも開始し、市民活動のプログラムとの連携も実現した。	上半期評価 各活動部会の事務局として、仕様書に定める要求水準を遵守し、毎月適切な運営を行った。各活動部会の実施、民間事業者、市等が主催するイベントへの参加、指定管理者によるイベントの実施などを行い、公園の魅力向上に努めた。
	☆☆☆☆	☆☆☆	
	下半期評価	草津まちづくり株式会社や草津市観光物産協会主催のイベントと市民活動などで連携をおこない、公園の魅力向上に取り組むことができた。次年度4月に実施する「くさつ桜まつり」に向けて、同時にプログラムを展開する草津まちづくり株式会社や観光ボランティア協会、クロスアベニューと調整を進めることができた。上半期に引き続き草津まちづくり株式会社と連携してガーデンストリートプロジェクトを実施、近隣商店街との充実したガーデン活動を実施した。移動図書館巡回先として、区間2区間5へ誘致し、毎月2回実施を継続できた。	下半期評価 各活動部会の事務局として、仕様書に定める要求水準を遵守し、毎月適切な運営を行った。各活動部会の実施、民間事業者、市等が主催するイベントへの参加、指定管理者によるイベントの実施などを行い、公園の魅力向上に努めた。
	☆☆☆☆	☆☆☆	

市民活動等のコーディネートに関する業務（仕様書P51～53）			
評価項目	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価	
4	上半期評価	昨年度に引き続きコーディネーターを常駐し相談室を設置した。市民活動のプレーヤーの発掘を継続し上半期で103プログラム実施した。今年度のくさねこコレッジは「子ども」をテーマにし学んだことを70分間に活かすという目的で3回講座を実施した。公園の緑の啓発や緑の団体同士のネットワークづくりを目的として実施した「スギアップセミナー」では前年のくさねこコレッジの中での意見も取り入れた内容とし、コレッジの参加者もセミナーの運営に関わり充実した内容となった。グラッシー、湖南農業高校のガーデニング活動について植栽花苗や植栽方法、活動の相談を行った。バラを管理する団体「くさつろザリアン倶楽部」では5月にバラ園のお披露目会とローズフェスタを開催、市民活動のプログラムも取り入れ公園内に新たな賑わいの場所を創出した。	上半期評価 仕様書に定める要求水準を遵守し、市民活動コーディネーターによる支援等を実施した。くさねこコレッジで、「子ども」をテーマにしたプログラムの検討のため講座を実施し、下半期のイベント開催につなげることでできた。コーディネーターの認知度向上のために様々な媒体による広報や市民活動団体のイベントでの周知を行った。
	☆☆☆☆	☆☆☆☆	
	下半期評価	市民活動の登録パフォーマー数が54となり、年間を通して209プログラム実施した。また、上半期に開催した「くさねこコレッジ」で学んだことやコーディネーターとの個別相談により、複数の子ども向けプログラムが生まれた。そこで生まれたプログラムは、くさねこキッズデー！にて披露した。また、くさねこに興味がある大学生や20代の若手を中心にワカモ/カイギを定期的に開催し、くさねこキッズデー！にてかまどテーブルを使った防災プログラムを企画・実施した。グラッシー、湖南農業高校のガーデニング活動について引き続き植栽花苗や植栽方法、活動の相談を行った。緑の活動では、草津第二小学校の授業の一環で、小学2年生の児童約120名と一緒に区間5東口駐車場の法面にスイセンの植え付けを行った。バラ園を管理する市民活動団体「くさつろザリアン倶楽部」の30名を超える2期生で活動した。	下半期評価 仕様書に定める要求水準を遵守し、市民活動コーディネーターによる支援等を実施した。継続した新規活動団体等の発掘や指定管理者主催イベントとの連携などにより、年間を通しての市民活動プログラム数が前年よりも増えた。
	☆☆☆☆	☆☆☆☆	